

# 東温市まち・ひと・しごと創生 「人口ビジョン」「総合戦略」

概要版

H27.10



愛 媛 県  
東 温 市

# 東温市人口ビジョン

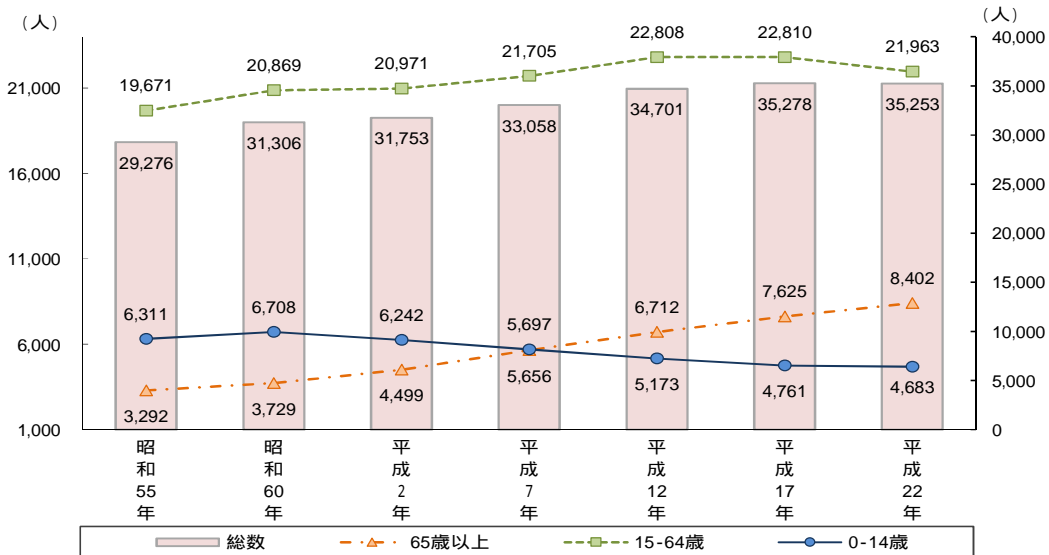
## 人口ビジョンの位置づけ

現在、日本全体が人口減少社会に突入し、東温市においても、少子高齢化・人口減少の影響が懸念されています。東温市人口ビジョンは、人口の現状を分析するとともに、市民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。

## 計画の期間

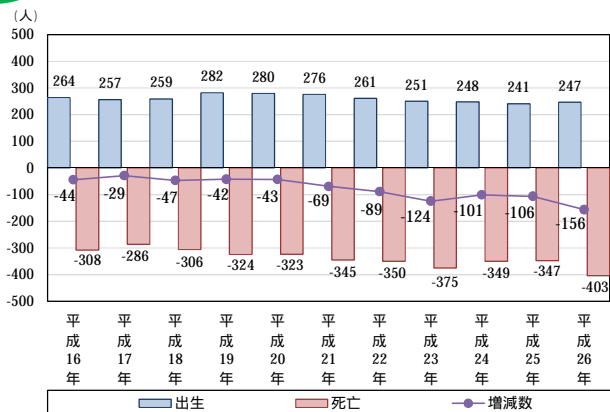
長期的な視野に立った展望を行うため、国の長期ビジョンの対象期間である 2060 年（平成 72 年）までとします。

## 東温市における人口の推移



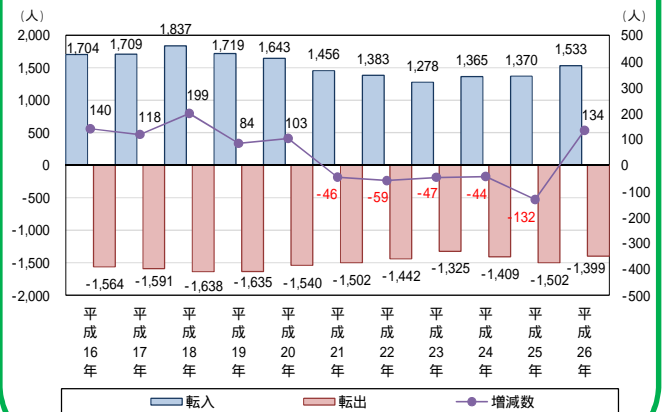
## 自然減 H16～

### 出生・死亡数の推移（自然増減）



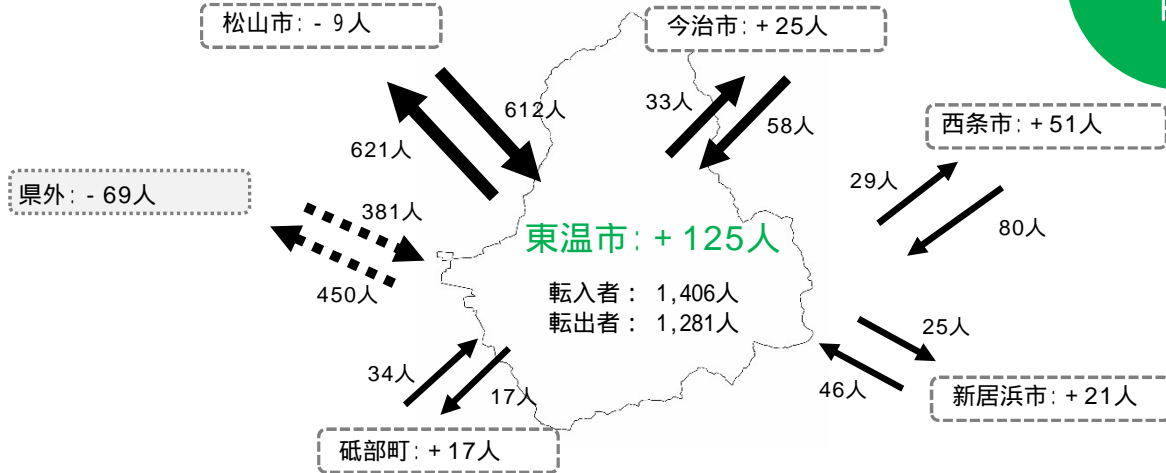
## 社会増 H26

### 転入・転出数の推移（社会増減）



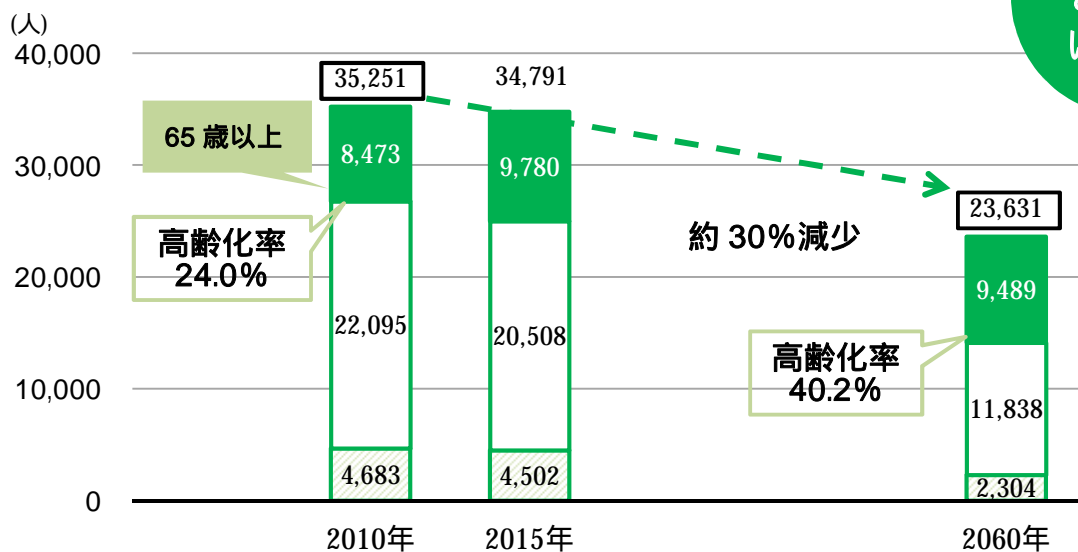
## 周辺自治体への人口移動

### 平成 26 年（2014 年）の周辺市町への人口移動の状況



転入超過  
H26

## 将来予想人口



しかし、  
このまま  
いくと…

### 考慮すべき現状

若年女性の割合は、県水準よりも高い。【強み】

若年層の未婚率が高い。【弱み】

医療、介護・福祉業の雇用力が高い。【機会】

1人当たりの市民所得は県平均を下回っている。【脅威】

など

## 人口減少による影響

### まち

市税の減少  
コミュニティの縮小  
地域行事の衰退

### ひと

老年人口割合の増加  
生産年齢人口の減少  
自治会加入率の低下

### しごと

消費者数の減少  
個人消費の衰退  
基幹産業の衰退

#### 地域人材の不足による活力低下

地域活動が低下し、美化・保全・防災・防犯・伝統行事に影響が生じる。

#### 子どもを取り巻く環境の変化

学校の統廃合による遠距離通学者の増加や、子育て支援環境が悪化する。

#### 経済成長の鈍化による悪循環の拡大

消費者数・労働者数の減少により、さらに経済規模が縮小される恐れがある。

#### 適切な行政サービスの維持困難

税収の減少による行政サービスの低下が懸念される。

### 自然増減へのアプローチ

2.07 (2040年) に段階的に向上

### 社会増減へのアプローチ

20~30代を中心に、全年代層で転入増

## 目標人口

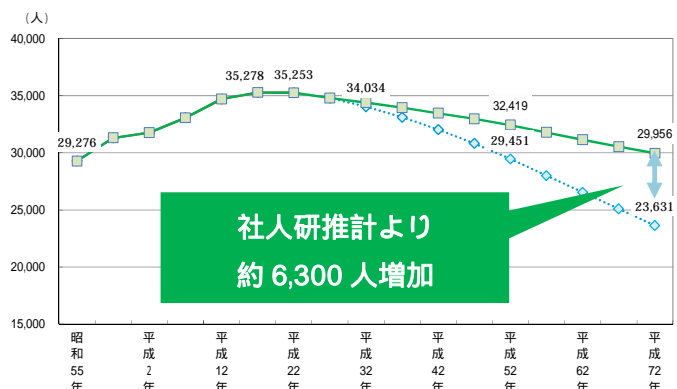
2060年 (平成72年) 将来人口展望 30,000人

2040年 (平成52年) 時点 32,500人

そのためには

### 目標に向けて

- 1 市の特性、強みを活かす  
人口の社会増につなげる。
- 2 若い世代の希望をかなえる  
人口の自然増につなげる。
- 3 新しい挑戦を応援する  
人口の社会増、自然増につなげる。



# 東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 基本的な考え方

人口ビジョンの将来展望の達成  
まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立  
魅力ある「まち」が「ひと」を呼び、  
「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環

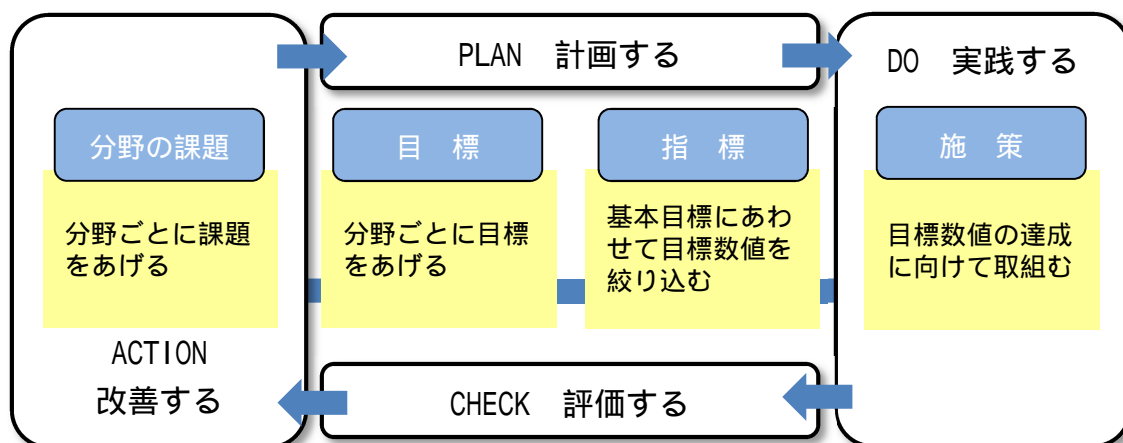


## 計画の期間

平成 27 年度 (2015 年度) から平成 31 年度 (2019 年度) までの 5 年間

## P D C A サイクル

本戦略の各施策の推進状況、取り組むべき内容については、東温市まち・ひと・しごと創生戦略会議で客観的な検証を行い、必要な見直しを行います。



## 政策 5 原則 + 「独自性」「新規性」を重視した施策の推進

本戦略の策定に当たっては、国の総合戦略に盛り込まれた「政策 5 原則」(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)と、本市独自の観点として「独自性」と「新規性」を強く意識し、ゼロベースで施策立案を行います。

## 基本目標の設定

- 基本目標 1 安定した雇用環境をつくる
- 基本目標 2 住みよさを全国に広くアピールし、新しい人の流れをつくる
- 基本目標 3 出会い、子どもを産み、育てていく希望がかなうまちをつくる
- 基本目標 4 安心して生涯暮らせる、夢の持てる地域社会をつくる

## 基本目標 1

# 安定した雇用環境をつくる

### 強み

良質の米生産地であり、麦やいちごなどの特産物がある  
豊かな森林資源がある  
高速道路、川内IC、幹線国道など市外からのアクセスが良い  
災害が少なく、企業立地候補地として上がりやすい  
市外からの流入人口が多い

\* 一部抜粋

### 弱み

農林業の担い手が減少している  
中山間地域が多く、経営基盤が弱い  
小規模農家が多く、農家が高齢化している  
企業立地に適した宅地が少ない  
空き家、空き店舗が増加している

\* 一部抜粋

## 基本方針・成果目標

東温市の恵まれた立地・交通条件を活かし、企業が進出しやすい環境を整えます。  
また、多様で付加価値の高い、新たな産業を育成することにより、社会経済情勢の変化に対応する、足腰の強い産業構造の構築と就業機会の拡大を目指します。

目標項目	単位	基準値	目標値 (H31)
雇用創出数	人		500
新規農林業従事者数	人		50

## 施策内容

### 1. 働く場所をつくる

- 1-1 企業誘致の推進 (工業団地の造成、スマートインターチェンジの整備、トップセールスによる企業誘致)
- 1-2 起業への支援 (起業やキャリアアップの支援、空き店舗の活用支援)
- 1-3 農林業の振興 (農林業者・消費者双方に対する情報発信、集落支援・6次産業化の支援、林業の新たな事業化の支援)

### 2. 市内の企業を応援する

- 2-1 販路拡大の促進 (中小零細企業への支援、「逆」商談会の開催、市内事業所による交流イベントの開催)
- 2-2 愛大医学部と市内企業との連携 (ものづくり産業の創生、ヘルスケア産業の創生)

### 3. 新たな価値をつくる

- 3-1 とうおんブランドづくりの推進 (新規ブランド・ふるさと名物商品の開発、とうおん銘菓のブラッシュアップ)
- 3-2 消費・需要に合わせた新産業の育成 (新規産業への支援、ICT活用による生産販路の拡大)

## 基本目標 2

# 住みよさを全国に広くアピールし、新しい人の流れをつくる

### 強み

松山市のベッドタウンとして住環境が整っている  
医療体制が整っている  
住みよさランキング県内 1 位  
(東洋経済新報社「都市データパック 2015 年版」より)  
市外からの転入者が増加している \*一部抜粋

### 弱み

東温市の知名度が低い  
都市部と山間部で利便性に格差がある  
全国から人を呼び込める観光・物産が少ない(資源はある)  
商業施設に空き店舗が生じている \*一部抜粋

## 基本方針・成果目標

地域資源を磨き上げ、PR することによって、市のイメージアップを図るとともに、移住・定住を促進する施策に官民一体となって取り組むことで、定住人口の増加を目指します。

目標項目	単位	基準値	目標値 (H31)
休日の滞在人口率		2.03 (H26)	2.60
転入超過数	人	148 (H22~H26)	300 (H27~H31)

## 施策内容

### 1. 移住・定住を応援する

- 1-1 移住・定住の促進(移住相談窓口の設置、移住・就業体験の実施、UJIターンの推進、お試し農業体験の実施、Uターン奨学金制度の創設)
- 1-2 優良な住環境の整備(空き家の活用、志津川土地区画整理事業地等の分譲促進)
- 1-3 地域情報の発信(地域案内人制度の創設、地方創生総合サイトの構築、応援市民登録制度の創設)

### 2. 地域資源で人を呼ぶ

- 2-1 坊っちゃん劇場を核とする文化・観光振興(レスパスシティの観光・交流拠点化、坊っちゃん劇場を核とした文化交流の拠点化)
- 2-2 観光資源の魅力強化(エコツーリズムによる「まちづくり型観光」の推進、滑川観光資源の活用、サイクリングコースの開設・イベントの開催)

## 基本目標3

# 出会い、子どもを産み、育てていく希望がかなうまちをつくる

### 強み

待機児童はいない  
児童福祉施設が充実している  
子どもの医療費助成や保育料軽減を実施している  
若年女性（15-49歳）が比較的多い  
とうおん子ども科学&環境会議等、学びの場がある \*一部抜粋

### 弱み

未婚率が高い  
晩婚化、晩産化が見られる  
合計特殊出生率が低い  
一人当たりの所得が県平均より低い \*一部抜粋

## 基本方針・成果目標

既の実施している子育て支援策をより分かりやすく情報発信するとともに、共働きを前提とした子育て支援の拡充を図ることによって、安心して子どもを産み育てることができる地域社会の実現を目指します。

目標項目	単位	基準値	目標値（H31）
20代後半女性の未婚率	%	62.7 (H22)	58.0
合計特殊出生率		1.40 (H27)	1.53

## 施策内容

### 1. 出会いを応援する

1-1 婚活への支援（婚活事業への支援、縁結びサポーターの育成）

### 2. 妊活・出産を応援する

2-1 妊活・出産への支援（特定不妊治療への助成、子ども用品のリサイクル促進）

### 3. 子育てを応援する

3-1 三世代同居への支援（三世代同居・近居家族への支援）

3-2 子育て世帯への経済支援（保育料の軽減、第3子以降の保育料軽減、多子世帯への住宅支援、子どもの医療費助成、子育て応援パスポートの発行）

3-3 子育てしやすい環境づくり（園児・児童預かりサービス、児童館の内容充実、子育てに関するインターネット総合サイトの構築、ワーク・ライフ・バランス、働き方の見直し支援、出産後の職場復帰・再就職の支援、ファミリー・サポート・センターの充実）

3-4 特色ある教育の推進（ふるさと教育・キャリア教育の推進、地域の伝統・歴史等の教育の充実）



## 基本目標 4

# 安心して生涯暮らせる、夢の持てる地域社会をつくる

### 強み

伝統行事が各地域で盛んであり、世代間交流がある  
各種スポーツ大会への参加が多く、地域住民の交流が盛んである  
ボランティアや各種サークルなど、市民活動が盛んである  
山間集落であっても、車があれば都市部に短時間で行き来できる  
各地域にリーダーシップを発揮する人材が存在する \*一部抜粋

### 弱み

山間集落では子どもが減り、学校の存続が危惧される地域がある  
高齢化と人口流出で、集落の維持が困難となっている地域がある  
自治組織への未加入や、地域コミュニティの希薄化が進んでいる  
地域活動の担い手不足により、一定の人に負担が集中している

\*一部抜粋

## 基本方針・成果目標

市民の力を市政に活かすとともに、他市町と連携して広域的な視点で社会、経済構造の転換を図ることにより、誰もが夢といきがいを持って、生き生きと暮らせる生産性の高いまちの実現を目指します。

目標項目	単位	基準値	目標値 (H31)
東温市に住み続けたいと思う市民の割合 (16~22歳)	%	68.0 (H27)	75.0
生活にいきがいがあると感じる高齢者の割合	%	74.2 (H27)	80.0

## 施策内容

### 1. 時代に合った地域をつくる

- 1-1 市民と連携したまちづくりの強化 (市民ワークショップの開催、市民提案事業への助成、まちづくり団体等の育成、多世代交流拠点の整備、地域通貨制度の創設)
- 1-2 集落の維持・活性化 (地域人材・外部人材活用による集落活性化、中山間地域における住民主体の取組支援)
- 1-3 アクティブシニアの推進 (シニア人材の発掘・登録・活用、シニア人材活躍の場としてのサロンの整備)

### 2. 地域同士で支えあう

- 2-1 広域連携による地域の活性化 (松山圏域連携中枢都市圏の形成)



東温市 総務部 企画財政課

〒791-0292 愛媛県東温市見奈良 530 番地 1

TEL 089-964-2001 (代表)

089-964-4401 (課直通)